



9月 あひるぐみだより

外に出ればまだまだ汗ばむ日もありますが、吹いてくる風が涼しいことも増え、少しずつ秋の訪れを感じます。水遊びやアイスクリーム屋さんごっこなどいろんな体験を楽しんだ夏が終わり、子ども達は有り余る体力でお散歩や戸外遊びを思いっきり楽しんでいます。朝晩の気温差が大きい日が増えてきましたので、子ども達の健康管理にも気を付けていきたいと思ひます。



保育室では野菜のスタンプをしたり、筆を使って絵を描いたり遊ぶことを経験した子どもたちがお日様の下で絵の具を使ってボディペインティングをしました。

筆を使って絵を描くことはどの子もお得意で、すらすらと段ボールのキャンパスに書きます。保育者が手や足型を段ボールにつけると同じように真似する子も増え、次第にキャンパスは段ボールから自分の身体に変わりました。自分の腕や足、顔にも絵の具で色をつけると「冷たい」や「この筆気持ち



いね」と話しながら、絵の具の冷たさや筆の柔らかさを体感したようです。ママがマニキュアを塗る様子を見ている子は自分の爪にネイルをします。自分の爪だけではおさまらず、友達や保育者の爪にも絵の具を塗ってあげていました。

初めは絵の具が手につくことが苦手だった子もいましたが、筆だけではなく霧吹きを準備すると汚れを気にせず楽しめました。何度も吹きかけると雨のようにしずくができて下に垂れていきました。垂れて線ができるのが筆とは違った面白さがあったようです。キラキラのお日様の下でひと足早い芸術の秋を味わいました。

どんな子に育ってほしい？

2歳を過ぎた子どもは食べたり遊んだり話したり…一人前の大人と同じことができるようになる時期です。そんな子どもたちにこれからどんな風に育ってほしいと願っていますか？



- ① 意欲があり何かに夢中になれる力
- ② 自分のことを好きだと思える力
- ③ 自分の気持ちを前向きにする力
- ④ 他人とのコミュニケーションをとる力



この4つの力は社会と関わり生きていくために必要な力で、乳幼児期の間にも大きく育ちます。ではどの子どもをまるごと受け止めましょう。

⇒「自分は自分のままで、大丈夫」という自己肯定感を高めます。

さまざまな遊びや手伝いを日常で気に行いましょう

⇒自分で好きなことを見つけて遊ぶことのできる子どもは何をするにも積極的に動く意欲をもち、遊びの中で工夫する力も身につけます。

子どもの「やってみたい」を応援しましょう。

⇒子どもが好きなことを見つけたら、そっと見守り、その思いを受け止めましょう。親のエゴで押し付けたものはやる気の芽をつみ、押し付けと感ひます。